

配本センターでは、震災発生翌日より「地震関連コーナー」を設置、そして、原発問題が取りざたされるようになってからは原子力関連のテーマ展示を行ってきました。

貸出が多かったことから、みなさんの関心の高さが伺えました。



震災から月日が経ち、被害の少ない地域では、被災地のことを忘れがちになってくる時期ではないでしょうか？復興はまだ始まったばかりです。被災地を応援する意味も込めて、いま一度、東日本大震災を特集します。

震災後に出版された書籍を加え、「原発・放射能」・「復興」・「防災・減災」・「3.11」というキーワードで、本を集めました。

3.11は作家たちにも大きな影響を残しています。今回の展示では、震災の影響を受け内容を修正した小説、そのときの思いを綴った作品、震災をテーマにした作品を紹介しています。以下はその一部です。

タイトル	著者	出版社	ジャンル	請求記号
震災後 こんな時だけど、そろそろ未来の話をしようか	福井 晴敏	小学館	小説	913.6/77
クラブティオ	真山 仁	文芸春秋	小説	913.6/77
馬たちよ、それでも光は無垢で	古川 日出男	新潮社	小説	913.6/77
幻影の星	白石 一文	文芸春秋	小説	913.6/77
ぜんぶの後に残るもの	川上 未映子	新潮社	エッセイ	914.6/77
ピアノシモな豚飼い	杉田 徹	西田書店	エッセイ	914.6/77
首輪をはずすと	丸山 健二	駿河台出版社	エッセイ	914.6/77
「こつこつ」と生きています	岸本 葉子	中央公論新社	エッセイ	914.6/77
揺れる大地に立って 東日本大震災の個人的記録	曾野 綾子	扶桑社	ルポ	916/1
忍者サノスケじいさんわくわく旅日記 (栃木の巻) 43 手をつなごう！の巻	なすだ みのる	ひくまの出版	児童書	91.3/2

また、昨年5月に現地を訪れた職員のボランティア記、その時撮影した写真も合わせて展示しています。

※この特集は終了しました。

豊橋市図書館 配本センター

〒440-0862 豊橋市向山大池町20番地の1

TEL.0532-62-2944

